

政策・提言力で議会をリード

日本共産党

市民のいのち くらし守ります

コロナ対策を強め

いわむる年治

市議会議員

プロフィール ■ 岩室としはる

1990年初当選以来、市議8期目。副議長、監査委員、議会運営委員会委員長、総務常任委員会委員長、議会改革協議会会長など歴任。現在は教育民生常任委員会委員長、基地対策特別委員会、議会運営委員会など所属。住所＝逗子市逗子5丁目

22年2月・3月、日本共産党の政策を紹介します。



日本共産党逗子市委員会
事務所 沼間2-15-4 ☎871-1321

3月27日
逗子政治戦

市民とともに市政を前に 市議会で働かせてください

市議会議員 いわむる年治

初当選の当時は、池子米軍住宅問題で、市民が二分する状況で、緑派13人目の議員として送り出されました。私のパンフレットには「穏やかな市民生活の逗子をめざして」と書きました。その後、追加建設問題も浮上。池子問題は私のライフワークとなり、毎議会、質問に立ち続け、歴代市長6人と論戦。社会状況も大きく変わり、市は厳しい財政状況の中で、財政危機となりました。

対立ではなく、お互いを理解し、リスペクト(尊敬)することの大切さを感じ、今は市民が落ち着きと穏やかさを取り戻したことを実感しています。

いまこそ市民、市政、議会が力をあわせ

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大、温暖化による豪雨災害、市内の相次ぐ緑地崩落は尊い命を奪いしました。市は危険個所への防護対策、民有地の対策への助成に取り組んでいます。

私は今だからこそ、市民・行政・議会が力をあわせて、乗り越えていくことが必要だと思っています。みなさんと一緒にこれからも逗子市政を前にすすめていきます。



この4年間に桐ヶ谷市政に変わり、財政調整基金は約23億7千万円(令和3年度末)になりましたが、現在も厳しい状況は続いています。議員生活の中で、

原点を貫き 8期32年

● 反核・平和の思いから20歳で日本共産党に入党し42年。米軍住宅問題で運動に参加。原水爆禁止世界大会にも参加し、その思いで入党しました。

● 池子の森自然公園(共同使用40ha)の維持管理費と緑地崩落の防災対策など国の責任で負担すべきと主張。財政負担の軽減を求めてきました。

● 毎月第2日曜日、池子全面返還を要求する「池子定例デモ」を、ねばり強く続けて48年、580回を数えました。

● 市議会の定例会ごとに党逗子市議団発行の「逗子民報」を発行。みなさんに市政報告を欠かしません。

提案力・提言力で 議会をリード

いわむろ

市議会議員
年治

市民に役立つ 施策は推進

市政でも市議会でも是々非々の立場で



みなさんと力をあわせ
前にすすめました

◎ 9月から温かい
中学校給食へ

◎ 小中学生に市営プール
無料の利用券復活

◎ 小児医療費助成、
中学3年まで実現

小中学校のトイレに4月から生理用品配置／小中学校、保育園に防犯カメラ設置／池子の森自然公園内の斜面崩壊。国の支援で2月から復旧工事に着手



2議席の「議案提案権」つかい提案

保育施設の基準を定める条例の提案（民間小規模施設）

逗子・葉山地域に保健所の設置を提案

バスの「京急ふれあいパス」購入助成を提案

公意派の情報会、他会への情報提供、米軍の求書などを見せ、共同提案



コロナ対策 逗子市長に求めています

接種会場・スマイルへのシャトルバスの運行は、市内全域にルート拡大すること。県と連携し後遺症の実態調査と相談窓口の設置を要望。

後手後手のコロナ対策、「自己責任」押しつけの冷たい岸田政権に「NO!」の声を
逗子から

いわむろ年治市議に
託してください

日本共産党

新しい市議会できりくみます

子育て支援

- 小児医療費助成（1歳から中学まで）所得制限をなくす
- 学校給食の無償化
- 学童保育の人数を増やし、受け入れ体制の整備
- 不育症対策助成の事業復活

くらし・福祉拡充

- 国民健康保険料の軽減、18歳以下の均等割り廃止
- 高齢者の補聴器購入助成
- 横断歩道に視覚障がい者のためのエスコートゾーン設置
- 高齢者の京急ふれあいバス購入助成
- 男女共同参画推進条例制定

防災対策に全力

- 崩落の危険がある崖や斜面緑地の防災対策の強化
- 津波・地震・豪雨など災害への備えの充実

環境・ゴミ対策

- ゴミ減量・資源化の推進
- コミステーション管理条例（利用者登録制）

池子関連で 国に要求

- 医療保健センターの進入路早期返還
- 池子米軍住宅のコロナ感染状況の情報提供
- 自然公園の緑地・運動施設の維持管理の負担軽減
- 自然公園の市民開放
- 池子米軍基地の全面返還